

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津～城陽間)建設の滋賀県域:12.2km及び甲賀土山～大津JCT(仮称)間の6車線化事業(28.5km)を担当しています。

3

名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保



リニューアル工事状況(床版取替)



高速道路損傷状況(熊本地震(左)、大雪による立ち往生(右))

2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保

1 物流の効率化による生産性の向上

◆新名神高速道路(大津～城陽間)滋賀県域:12.2kmの進捗状況

新名神(滋賀県域の新設区間)では、用地取得及び埋蔵文化財調査は完了しています。工事は、全ての工事区で着手しています。なお、新名神高速道路(大津～城陽間)(八幡京田辺～高槻間)の6車線化が事業化され、合わせて工事を実施しています。

◆各地区の進捗状況(令和3年11月1日現在)

完了 実施中 実施予定

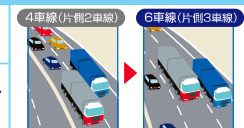
区間		大津JCT～城陽JCT-IC(滋賀県域)(12.2km)											
工事区		大津大石工事区(5.8km)				大津田上工事区(3.9km)				大津上田上工事区(2.5km)			
学区名		大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)			
自治会名(km)		小田原町	龍門町	中町	東町	関津	里	枝町	森町	羽栗	新免	中野町	牧町
		2.1km	2.4km	0.4km	1.5km	1.0km	0.3km	0.7km	0.5km	0.8km	0.4km	0.9km	1.2km
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
用地取得		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
埋蔵文化財調査		-	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
工事着手	本線	100	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	工事用道路	-	◇	◇	◇	-	◇	◇	◇	-	-	-	◇

◆新名神高速道路における6車線化事業の整備効果

1 物流の効率化による生産性の向上

課題 新名神高速道路は開通以降、大型車の交通量が増加傾向にあります。また、交通の集中に伴う渋滞も増加傾向がみられます。

効果 6車線化によって、低速度の大型車と高速度の普通車の混在による速度低下や事故リスクを低減し、物流の効率化に寄与することができ、生産性の向上が見込まれます。



2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保

課題 名神高速道路は降雪・地震などの災害リスクポイントを抱えています。特に、琵琶湖西岸断層帯などの近隣地域では、地震発生時の機能停止が懸念されます。

効果 6車線化により、名神高速道路とのダブルネットワークの安定性が向上します。これによって、降雪や地震等の災害発生時に名神高速道路が通行止めとなった場合においても、新名神高速道路を代替路として利用することができ、安定的な交通を確保することができます。

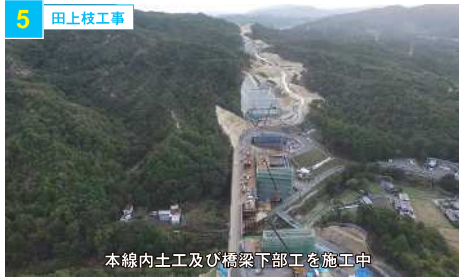


3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

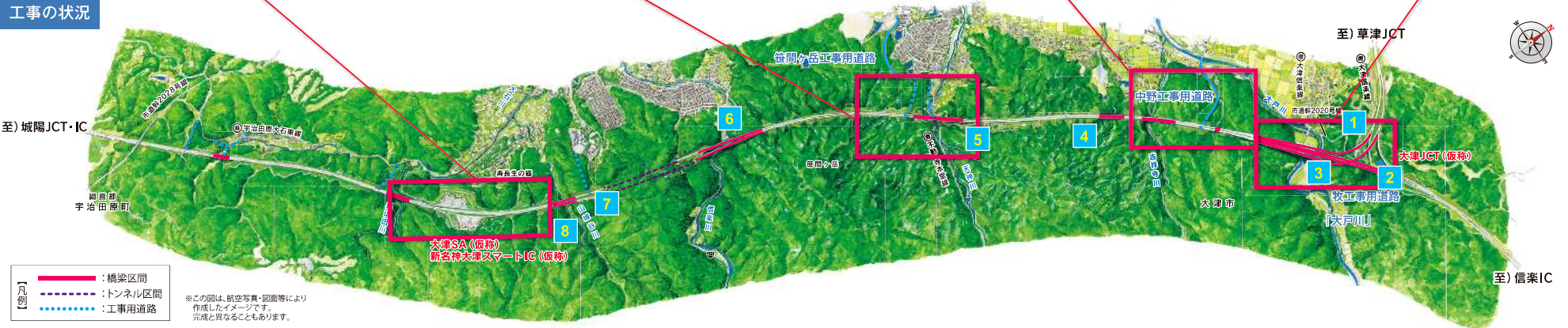
課題 名神高速道路は開通から50年以上が経過しており、今後リニューアル工事が本格化していきます。米原JCT～草津JCT間のリニューアル工事においては、主なう回路が新名神高速道路となります。

効果 名神高速道路のリニューアル工事実施時に、う回車両により新名神高速道路の交通量が増加した場合でも、6車線化によって渋滞の発生を抑制し、名神高速道路を軸とした円滑な交通を確保できます。





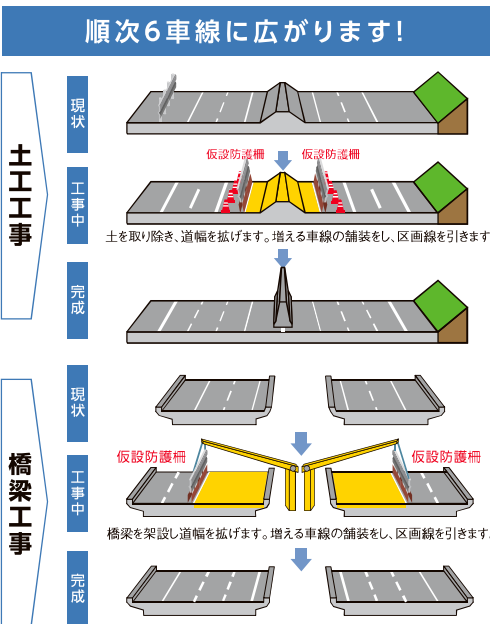
工事の状況



E1A新名神(大津JCT(仮称)～亀山西JCT)の6車線化工事に伴う車線規制を実施しています。
～車線規制や路肩が狭くなる区間がございますので、注意してご走行ください～

6車線工事の内容

NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化事業を進めています。6車線化に向け、土工事や橋梁工事、そして舗装工事などを行います。
※仮設防護柵設置時に車線規制を行います。※工事中は路肩が狭くなるので、注意して安全走行をお願いします。



INTERVIEW

現在進行中の工事、しゅん功した工事、また今後本格化する工事に関わるスタッフをご紹介します。工事の状況や今後の抱負も含めてお届けします。



Voice 1
NEXCO西日本
新名神大津事務所 所長
宮内 智昭

—自己紹介をお願いします。

令和3年7月1日付けで新名神大津事務所に参加しました宮内でございます。これまでより長くお勤めです。新名神高速道路は、平成17年より職務は異なりますが、携わってまいりました。今回、所長という職務に就くこととなり、新名神の重責に身の引き締まる思いです。滋賀県は、出身が大変いいところもあり、比叡山延暦寺や琵琶湖に度々訪れていたことから、馴染み深い土地であり、ここで仕事ができることを幸せに思っています。

—新名神高速道路大津〜城陽(滋賀県域)の建設進捗状況と甲賀土山〜大津6車線化工事進捗状況を教えてください。

大津〜城陽の滋賀県域(約12.2km)は、地権者のみなさまのご協力のおかげで事業用地をほぼお譲りいただくことができており、土工・トンネル・上部工工事を全て発注して、全線において工事に着手しています。特に、大津JCT(仮称)の大戸川橋では、下部工が林立し橋桁を張り出している状況が見られ、工事の進展

—今回しゅん功した新名神高速道路 上田中野工事について、工事を終えての感想をお聞かせください。

本工事は、工用道路を構築するための工事であり、いろいろな工夫が必要な工事でも非常に苦労した工事でした。年4ヵ月と長い工事期間でしたが、日頃から「人と機械の分離」「協力会社同士でのコミュニケーション」を心掛けたことで、地区内の大型車の通行時間を配慮するなど、安全活動に注力しました。また、工事期間中は1回の沿道の清掃活動に参加するなど、地域貢献に努めました。住民のみならず、理解と協力をいただいたき、無事故無災害でしゅん功を迎えることができました。



Voice 3
大成口テック(株)・(株)森原組
特定建設工事共同企業体
中村 哲人

—担当される新名神高速道路 甲賀土山〜甲南間舗装工事の概要を教えてください。

本工事は、新名神高速道路 甲賀土山IC〜甲南IC間約6.5kmの区間の中央部を拡幅する6車線化工事です。上下線の中央部にある盛土を撤去し、新たに車道や排水設備、中央分離帯、コンクリート防護柵を設置

を感じることでございます。また、信楽川橋では、地上より路面までの高さが100mを超える橋脚が完成し、イングラインも稼働率が上がっています。更に、大津大石トンネルでは、上り線の作業坑(3車線断面へは切掛けを行う)が貫通し、東西坑間の行き来ができるようになっております。しかしながら、この区間全体の進捗率は14%と道半ばであり、技術的に難しい工事が多々残っていますので、鋭意努力をしながら工事を進捗させたいと思います。

—宮内所長が仕事をされるうえで大切にされていることをお聞かせください。

「安全・品質」を大切にしています。これは、沿線住民のみならず、関係行政のみならず、工事受注者やその下請けのみならず、コミュニケーションを積極的に取ることで、自分の気づかないところを気づかせていただくことが多く、工事や周辺地域の安全面の向上や、新たな発見からの品質の向上にも繋がっています。次に、技術の継承と進化です。新名神を始め高速道路では、先人の培ってきた技術を基礎として様々な新技術を取り入れていきます。建設人口が減少する中で、これらの技術の継承を、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。また、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、技術の進化に努めたいと思っております。

—新名神高速道路 甲賀土山〜甲南間舗装工事の現在の進捗状況をお聞かせください。

現在は、全体の1割程度の進捗でありこれから本格的に始まっていく工事となります。工事箇所とお客さまに通行をいただく箇所を仕切るための仮設防護柵(置き式ガードレール)を、夜間車線規制により、設置を行っております。その他は、甲賀土山IC付近の岩室橋から土砂を撤出するための設備の構築や工用車進入路の設置を行っています。

—工事の施工にあたって気を付けていることをお聞かせください。

本工事は、供用している道路に隣接しており、本線車線規制等を伴うため、夜間工事を行います。車線規制時の交通渋滞や、渋滞によるお客さま同士の追突事故防止のため、LED板による工事中央内や、通行していたお客さまへ聴覚に超音波で注意を促すウルトラソニックインパクトシステム、光が回転や点滅し視覚に注意を働きかけるビックラシステム等を設置し、注意喚起を行っております。

—お客さまの安全の確保を第一に考え、無事故無災害で工事をしゅん功を無事迎えられるよう努めてまいります。

—担当される新名神高速道路 つめた谷橋(P/C上部)工事の概要を教えてください。

本工事は、2008年に開通した新名神高速道路の甲南ICから信楽IC間に位置するつめた谷橋を新たにP/C主桁を増設し、道路を拡幅する6車線化事業の工事です。

—新名神大津事務所所長としての今後の抱負をお聞かせください。

担当している区間が開通すれば、高速道路が繋がっていない区間(ツツシグリング)が解消され、近畿圏と中部圏の所要時間の短縮などの効果が期待されるほか、6車線化により安全で円滑な走行空間が確保され、物流の生産性の向上も図れ、高速道路機能が進化します。また新名神大津スマートIC(仮称)の開通により周辺地域への発展にも寄与できることから、一日でも早い開通を目指し、着実に進めてまいります。



Voice 2
公成建設(株)・(株)昭建
特定建設工事共同企業体
稲垣 雅夫

—担当された新名神高速道路 上田中野工事の概要を教えてください。

本工事は、新名神高速道路大津JCT(仮称)〜城陽JCTIC建設事業の上田中野地区に作業し、本線土工・橋梁下部工および工用道路として使用する橋梁(仮橋)などを施工する工事です。

—新名神高速道路 つめた谷橋(P/C上部)工事の現在の進捗状況をお聞かせください。

現在は、壁高欄工、伸縮装置工などの橋面工事を行っており、橋体工事は、終盤を迎えています。今後は、支保工撤去ののち、落橋防止工や桁端防水工など高架下工事を行います。

—工事の施工にあたって気を付けていることをお聞かせください。

本工事は、供用中の本線を拡幅する工事であり、通行していたお客さまと近接して作業を行うため、以前からの安全対策を行うとともに、レーザーを利用した衝突防止作業制御システムを設置することで、けい安全に工事を行っています。また、橋梁拡幅を短期間で完成させることにより、少しでも影響の軽減に繋がると考えています。本工事は、最初の橋梁拡幅工事であり、様々な新技術の導入により効率を高める検討をしました。

20〜程度の橋桁ブロックの設置など大型クレーンを使用する作業を無事に終わらせることができました。工事完了までもう少しですが、最後まで気を引き締め、無事故無災害で工事をしゅん功を迎えられるよう努めてまいります。



Voice 4
(株)ビーエス三菱
西濱 智博